キャラクター名: アイン・グランツ

プレイヤー名:

種族	シャドウ	種族特徴	暗視/月光の守り		
生まれ	拳闘士	性別	男	年齢	20
冒険者Lv	3	経歴	ガキ大将		
経験点	450		有名人の友達がいる（いた）		
			異種族をいる（いた）		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	14	器用度	6			20	3
		敏捷度	6	1		21 + 2	3
体	8	筋力	7			15	2
		生命力	7			15	2
心	5	知力	7	1		13	2
		精神力	6			11	1

技能	Lv.	技能	Lv.
グラップラー	3		
スカウト	1		
セージ	1		
エンハンサー	1		

戦闘特技			
追加攻撃	220 p		p
投げ攻撃	225 p		p
武器習熟/格闘	221 p		p
両手利き	223 p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
魔法文明語		○
シャドウ語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
キャッツアイ	
ビートルスキン	
マッスルベアー	

名誉アイテム	点数

名誉点 所持 0 /合計 0

技能

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	3	6	6	5
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾

		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	クロスアーマー		1	0	2
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					1
回避技能	グラップラー		合計値	6	5

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ハードノッカー グラップラー専用、パンチ強化	1H	5	1	2d+ 7	10	6	10										
				2d+													
				2d+													

一般装備品 (消耗チェック)

冒険者セット	○□□○□□
ヒーリングポーションx5	○□□○□□
スカウト用ツール	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□

所持金 135 G

預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	23 m	69 m

回避	防護点
2d+ 6	5

HP
24

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 3	2d+ 4

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 5	2d+ 8

MP
11

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品		説明
頭		
耳		
顔		
首		
背中		
右手	能力増強の腕輪	魔法の品。能力値を1つ+2する。破壊すると1度だけ+14する。
腰	ブラックベルト	魔法の品。防護点+1
足		
その他		

装備品		説明
左手	能力増強の腕輪	魔法の品。能力値を1つ+2する。破壊すると1度だけ+14する。

その他メモ

家族構成は父母自分の3人家族。親が財を成しお金持ちで自分の身体能力がシャドウの中でもいいほうだったので幼少期はガキ大将。
7歳に人間の街に引っ越すがシャドウの特徴でもある第三眼を不気味がられ忌み嫌われていたので人間のことが嫌い。
15で成人なので街と家を出て傭兵になる。
そんなときにサージと出会い他種族なのに不気味がらないのとサージの人柄の良さで心を打ち解けた。
数ヶ月過ごした頃にサージからこんなことを言われる。
「人間だろうがシャドウだろうがいいやつもクソみたいなやつもいる。全員嫌ってちゃきりがない全員仲間のほうが気が楽だろ？」
と言われた。
その言葉は少しくさいセリフかもしれないが、アインが気に留めるには十分な言葉だった。
そして意味もなく嫌うことを徐々にやめていく。
サージと出会いのあとは行動をともにすることが増え、一人っ子のアインは傭兵としても人生の先輩としても慕っていたアインはサージを実の兄のように思っていた。

自動失敗チェック

□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟